

SNSのトラブル対処法！！

～ 時に受け流す必要も！ ～

今やLINE（ライン）は、子どもたちにとって主流アイテムとなっていますが、LINEなどのSNSを利用する子どもたちが遭遇しやすいトラブルは、大きく4つの要因から発生しています。

- ① 身近な人間関係 ② 見知らぬ人との出会い ③ 安易な利用や登録 ④ 困ったことが起きても1人で抱え込む

特に多いのが「身近な人間関係」です。

仲間から中傷される、自分のうわさを広められた、執拗な誘いを断れない、そんなトラブルが後を絶ちません。

相手と親しいだけに、かえってこじれやすい場合もあります。

毎日学校で顔を合わせるなど、周囲からは「友だち」と思われていると、親や先生には悩みを打ち明けにくいものです。結果的に1人で抱え込むことになり、問題が長期化しがちです。

では、子ども同士のSNSトラブルが発覚したら、どう対処すればいいのでしょうか？

まずは、被害者側の話を聞いてください。当人の状況や気持ちを受け止めたら、今度は相手の子どもの話を聞いてください。というのも、ネット上では「安易にやってしまう」ことが多いからです。

何かをやった（言った）側は、「悪口とは思わなかった」「相手が傷ついているとは知らなかった」などと言うことがあります。これは、ネットの特徴で、スマホなどの「機械」を通じて発信しているため、過激な表現を使いやすいためです。

決して過激なことを言って良いわけではなく、注意や指導は欠かせません。一方で、「やった（言った）側に悪気はなかった」という点は、被害者側に伝えたほうが良いでしょう。

「実はそんなに深刻に受け止める必要はない」と知るだけで気持ちが楽になるのです。



ネット上のコミュニケーションでは、全てを真に受けず、時に「スルー（やり過ごす）」することが必要です。

SNSでのトラブルに限らず、ネットの情報を真剣に受け止め過ぎると、それだけで疲れてしまいます。

どこかでうまくスルーしておく、相手は機械に向かって言ってるんだと割り切る、そんな発想の切り替えをしてみましょう。

【本情報は、1月31日付け福井新聞記事を引用しています。】

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】 福井県安全環境部県民安全課 小林

電話：0776-20-0296（直通） メール：s-kobayashi-7g@pref.fukui.lg.jp

「家庭の日」推進テーマ2月「わが家の歴史を語りあい、寒さに負けない体力をつくろう」

「青少年育成の日」推進テーマ2月「手をかけず、目をかけて自立を助けよう」